

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ボンHBサーフェーサーR(W)

種類:合成樹脂エマルジョン塗料

製造会社

会社名:AGCコーテック株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:品質保証室 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5217-5106

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:1120400110808

用途:建築用、その他

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

引火性液体 :区分外

健康に対する有害性:

急性毒性—経口 :区分外

急性毒性—経皮 :区分外

急性毒性—吸入(ガス) :分類できない

急性毒性—吸入(蒸気) :区分外

急性毒性—吸入(粉塵/ミスト) :区分外

皮膚腐食性/刺激性 :区分3

眼に対する重篤な損傷性/刺激 :区分外

呼吸器感作性(個体/液体) :区分外

呼吸器感作性(気体) :分類できない

皮膚感作性 :区分外

生殖細胞変異原性 :区分外

発がん性 :区分外

生殖毒性 :区分1B

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) :区分外

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) :区分外1:区分外

:区分外2

長期にわたるまたは反復暴露による臓器
(肝臓、精巣)の障害のおそれ

吸引性呼吸器有害性 :区分外

環境に対する有害性:

水生環境急性有害性 :区分外3

水生環境慢性有害性 :区分外3

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

- 軽度の皮膚刺激
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 長期にわたるまたは反復暴露による臓器(肝臓、精巣)の障害のおそれ
- 水生生物に有害
- 長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

安全対策:

- ・使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全性注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・保護手袋及び保護眼鏡、保護面、保護衣を着用し、取扱い後は手洗い及びうがいを十分行うこと。

応急措置:

- ・吸引した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、病院か医師に連絡すること。
- ・皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯し、汚染の除去をすること。
- ・火災の場合は、炭酸ガス、泡、粉末消火器を使用すること。
- ・漏出した場合は、漏出物を回収すること。

保管:

- ・涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。
- ・容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

廃棄:

- ・内容物や容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:該当せず

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
アクリル樹脂	ND	5~15			
水	7732-18-5	10~20			
炭酸カルシウム	471-18-5	50~70			
メタノール	67-56-1	0~1	○		
エチレングリコール	107-21-1	0~1	○		
二酸化チタン	13463-67-7	1~5	○		
添加剤	ND	5~10			

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- ・蒸気、ガス等を多量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合は人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込まないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 汚染された衣類を取り除くこと。
- ・ 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

目に入った場合：

- ・ 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 直ちに、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤：水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

消化方法：

- ・ 適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。
- ・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・ 指定された消火剤を使用すること。
- ・ 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- ・ 消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・ 作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項：

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法／機材：

- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、回収する。大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・ 換気のよい場所で、取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用する。
- ・ 取扱い後は、手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管：

- ・ 日光の直射を避ける。風通しのよいところに保管する。
- ・ 盗難防止のため施錠保管する。
- ・ 子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具：

設備対策：

- ・ 特別に必要ない。

呼吸器の保護具：

- ・ 防塵マスクを着用する。

手の保護具：

- ・ 化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具：

- ・ 取扱いには、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：

- ・ 取り扱う場合は、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

管理濃度／許容濃度：

化学物質名 メタノール エチレングリコール 二酸化チタン	暴露管理基準ppm 200	暴露管理基準mg/m ³	skin
化学物質名 メタノール エチレングリコール 二酸化チタン	ACGIH_TWA ppm 200	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
化学物質名 メタノール エチレングリコール 二酸化チタン	IARC		

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 高粘度液体
色	: 白色
臭い	:
pH	: 9.0~10.0
融点/凝固点	:
沸点、初留点、沸騰範囲	: 100 [°C]
引火点	: 未測定 [°C]
自然発火温度(発火点)	: [°C]
燃焼性(固体、ガス)	
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: [vol %] / [vol %]
蒸気圧	: [Pa] ([°C])
蒸気密度	: 不明
蒸発速度	:
比重(相対密度)	: 1.65~1.75
溶解度	
水に対する溶解度	: 無限大に希釈可能
水に対する溶解性	:
溶媒に対する溶解度	:
溶媒に対する溶解性	:
n-オクタノール/水分配係数	: 不明
分解温度	: [°C]

10. 安定性及び反応性

安定性

- ・ 常温付近では危険な反応しない。

11. 有害性情報

急性毒性:

メタノール:

経口	LD ₅₀ :5628mg/kg (rat)	区分5	2500 mg/kg
経皮		区分外	
吸入	気体	分類対象外	
吸入	粉塵/ミスト	分類できない	

エチレングリコール:

経口	LD ₅₀ :4700mg/kg (rat)	区分5	4000 mg/kg
経皮		区分外	
吸入	気体	分類対象外	
吸入	粉塵/ミスト	分類できない	

二酸化チタン:

経口		区分外	>10000 mg/kg
経皮		区分外	
吸入	気体	分類できない	
吸入	粉塵/ミスト	区分外	

皮膚腐食性／刺激性：	メタノール	分類できない
	エチレングリコール	分類できない
	二酸化チタン	区分外
眼に対する重篤な損傷／刺激性：	メタノール	区分2A－2B
	エチレングリコール	区分2B
	二酸化チタン	区分2B
呼吸器感作用性(固形／気体)	メタノール	分類できない
	エチレングリコール	分類できない
	二酸化チタン	分類できない
皮膚感作用性：	メタノール	分類できない
	エチレングリコール	分類できない
	二酸化チタン	区分外
変異原性(生殖細胞変異原性)：	メタノール	区分外
	エチレングリコール	区分外
	二酸化チタン	区分外
発がん性：	メタノール	分類できない
	エチレングリコール	区分外
	二酸化チタン	区分外
生殖毒性：	メタノール	区分1B
	エチレングリコール	区分外
	二酸化チタン	分類できない
特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：	メタノール	区分1 (中枢神経系, 視覚器, 全身毒性) 区分3 (呼吸器への刺激のおそれ, 眠気またはめまいのおそれ)
	エチレングリコール	区分1 (心臓, 呼吸器, 腎臓, 中枢神経系)
	二酸化チタン	区分3 (気道刺激性, 呼吸器への刺激のおそれ)
特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：	メタノール	区分1 (中枢神経系, 視覚器)
	エチレングリコール	区分1 (中枢神経系, 呼吸器, 心臓)
吸引性呼吸器有害性：	メタノール	分類できない
	エチレングリコール	分類できない
	二酸化チタン	分類できない

12. 環境影響情報

- 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

- 生態毒性 : 情報なし
- 残留性・分解性 : 情報なし
- 生体蓄積性 : 情報なし
- 土壌中の移動性 : 情報なし
- 成分の水性環境有害性情報(環境有害物質を対象)

水生環境有害性(急性毒性)：	メタノール	区分外	900.73 mg/kg
	エチレングリコール	区分外	
	二酸化チタン	区分外	1000 mg/kg
水生環境有害性(慢性毒性)：	メタノール	区分外	
	エチレングリコール	区分外	
	二酸化チタン	区分4	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・ 廃塗料などを焼却処理する場合は、珪藻土等に吸着させて解放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
- ・ 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器および包装:

- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

- ・ 容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- ・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

国内規制

国連番号:

- ・ 該当なし

指針番号:

- ・ 該当なし

陸上輸送:

- ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- ・ 荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。

海上輸送:

- ・ 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送:

- ・ 航空法の定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号:

- ・ 該当なし

国連輸送名:

- ・ 塗料(PAINT)

国連分類:

- ・ 該当なし

容器等級:

15. 適用法令

消防法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 官報公示物質を含む
有機溶剤中毒予防規則	: メタノール(第二種有機溶剤)
悪臭防止法	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない

16. その他の情報

引用文献:

- ・ SDS用物質データベース 日本塗料工業会編集
- ・ GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)] 日本塗料工業会編集
- ・ TLVs and BEIs ACGIH (2006)

その他:

- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・ 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。